

京都・大徳寺

臨済宗大徳寺派の大本山
龍寶山と号する。

鎌倉時代末期に
大燈国師宗峰妙超禅師が開創
応仁の乱で荒廃したが、
一休和尚が復興



京都・金閣寺

臨済宗相国寺派の禅寺 相国寺（鹿苑寺）塔頭寺院の一つ。舍利殿「金閣」が特に有名のため一般的に金閣寺と呼ばれています。

鎌倉時代の公卿、西園寺公経の別荘を足利義満が譲り受け、山荘北山殿を造ったのが始まり

義満の死後、遺言によりお寺となり、夢窓国師を開山とし、義満の法号鹿苑院殿から二字をとって鹿苑寺と名づけられました。



京都・御苑・閑院宮邸



京都・常楽寺



閑院宮家は伏見宮家、桂宮家、有栖川宮家と並ぶ四親王家の一つ



京都・御苑・御所

平安遷都以降、度重なる大火で一時的に利用していた摂関家の邸宅を天皇の住まいとされ光厳天皇の即位（1331年）以来東京遷都までの約500年間現在の京都御所が天皇の皇居

明治維新で天皇が東京に移られたことで宮家や公家も京都を離れ、明治天皇の命により苑内道路整備事、植樹などが行われ現在のような姿になりました。





浄土宗第2組の名刹
今から約800年前、
浄土宗の第2祖聖光上人
が住まわれた霊跡である



京都・浄真寺



浄土真宗・大谷派



紫雲山頂法寺 「六角さん」の名称で親しまれています
聖徳太子が幼い頃、如意輪観音の像を持仏として大切にしました。その後「お前の守り本尊となってから、すでに7世が過ぎた。これからは、この場所にとどまって衆生の救済に当たりたい」、という仏のお告げを夢で見られました。信仰心篤い太子は、ここにお堂を建てよう決心しました。そこへ一人の老翁がやってきたので、「この辺りに観音のお堂を建てるにふさわしい木はないか」と尋ねました。老翁は「この近くに杉の巨木があります。毎朝紫の雲がたなびく霊木です。あの木を使うとよいでしょう」と言って去りました。老翁に教えられた場所に行くと、一本の杉の木があったので、それを伐ってこの地に六角の御堂を建てて護持仏を安置されたと伝えられます。



京都・二条城 (葵の紋の瓦)

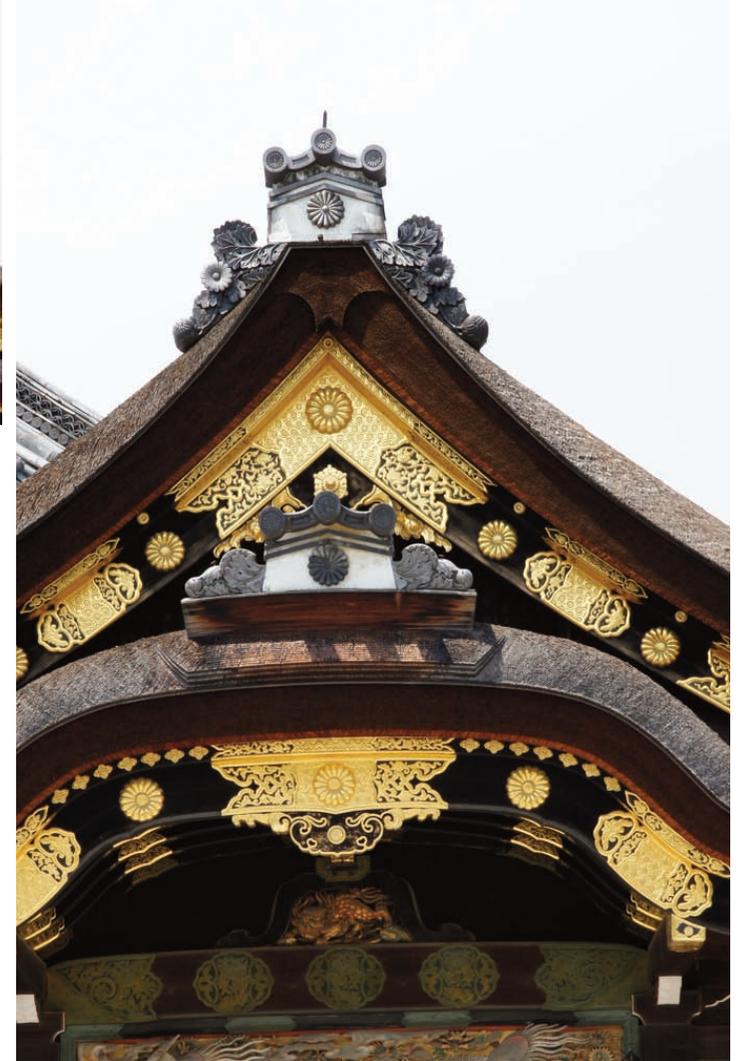
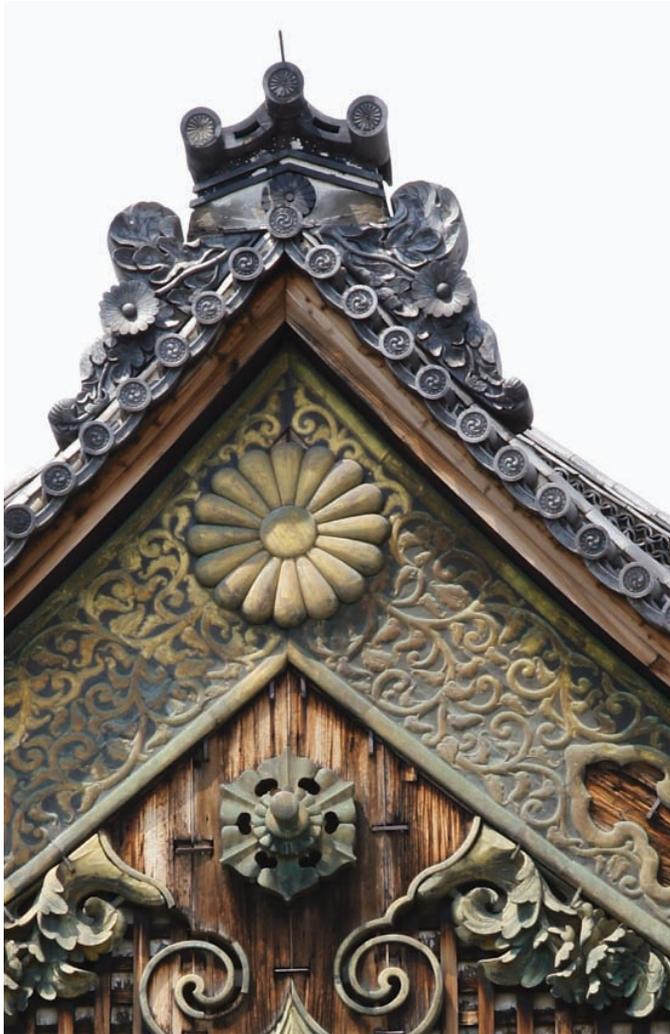


江戸時代の平城で現在見られるものは、徳川氏によるものである。

城跡全体が国の史跡に指定されている他、二の丸御殿（6棟）が国宝に、22棟の建造物と二の丸御殿の障壁画計1016面が重要文化財に、二の丸御殿庭園が特別名勝に指定されている。

1994年（平成6年）にはユネスコの世界遺産に「古都京都の文化財」として登録。

徳川家康の将軍宣下に伴う賀儀と、徳川慶喜の大政奉還が行われ、江戸幕府の始まりと終焉の場所でもある。



菊の御紋になっている。

奈良・唐招提寺



薬師寺・興福寺とともに法相宗の大本山。本尊は薬師如来、開基は天武天皇、道昭、義淵。

奈良・薬師寺



唐招提寺・南都六宗の一つ律宗の総本山。鑑真大和上が、東大寺で5年を過ごした後開いた戒律を学ぶ人たちのための修行の道場。



奈良・法光寺

浄土真宗本願寺派
永禄3年(1560)の創立
本尊；阿弥陀如来立像



皇居東御苑



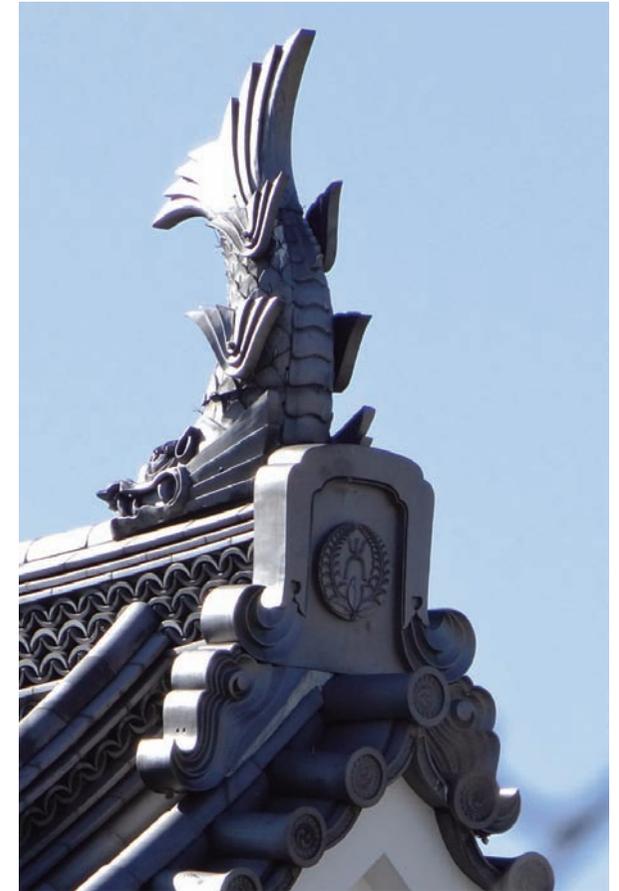
皇居の東側に付属してある広さ約 21 ヘクタールの庭園。
かつての江戸城の本丸・二の丸・三の丸跡に位置し、少し離れた場所の西の丸を含めた、この範囲のことを江戸城といった。緑豊かな雑木林に日本庭園や皇室関連の施設、江戸城の遺構などが残されている。



百人番所は葵の紋



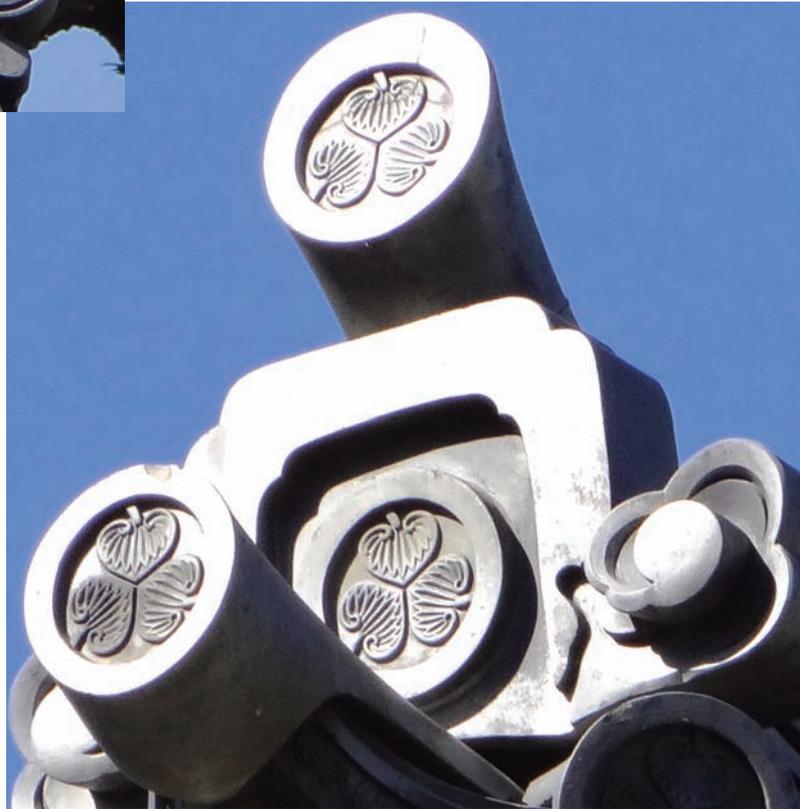
小田原城



小田原城天守閣

寛永 11 年(1634)に、三代将軍徳川家光が小田原城の天守閣に登り、武器を見たり展望を楽しんだという記録が残っています。

元禄 16 年(1703)の大地震のときには、ほとんどの建物が倒壊・焼失、天守閣は宝永 3 年(1706)に再建され、明治 3 年の廃城までそびえていました。現在の天守閣は、昭和 35 年月に、市制 20 周年の記念事業として復興したものの。



小田原・早雲寺

箱根湯本の早雲寺 1521年
北条早雲（伊勢盛時）の遺言により
北条氏綱が創建した臨済宗大徳寺派の寺院。
本尊は釈迦三尊仏（室町時代）。



岐阜市で見つけた珍しい瓦



長良川の側の鵜庄のお宅



長良川の側の お宅の棟瓦中央部



岐阜城



金華山山頂に位置し、岩山の上にそびえる岐阜城は難攻不落の城としても知られ『美濃を制すものは天下を制す』と言われるほどでした
戦国時代には斎藤道三の居城
その後織田信長がこの城を攻略し、城主となりました
信長は「井の口」と呼ばれていた地名を「岐阜」に、「稲葉山城」を「岐阜城」に改めたといわれています



名古屋・徳川園



徳川園は、尾張藩二代藩主が、元禄8年 造営の隠居所である大曾根屋敷に移り住んだのが起源とされています。

当時の敷地は約13万坪の広大さで、庭園内の泉水には16挺立の舟を浮かべたと言われています。

光友の没後、この地は尾張藩家老職の成瀬、石河、渡邊三家に譲られましたが、明治22年(1889年)からは尾張徳川家の邸宅となりました。



昭和6年(1931年)、十九代当主義親から邸宅と庭園の寄付を受けた名古屋市は整備改修を行い、翌年「徳川園」が公開されました。

岐阜・園龍寺



岐阜・含政寺



浄土真宗大谷派



浄土宗西山禅林寺派

岐阜・常在寺



日蓮宗京都妙覚寺の旧末寺
鷲林山常在寺
斎藤道三以後斎藤氏三代の菩提寺
本尊は文殊菩薩



岐阜・浄土寺



『真宗大谷派岐阜別院
(岐阜東別院)』

浄土真宗
宗派 真宗大谷派



岐阜・正法寺大仏

黄檗宗・金鳳山
正法寺にある
釈迦如来像



日本三大仏の一つ、乾漆仏としては日本一
天保3年4月(1832年)に、実に38年
の歳月を費やして完成

仏像は坐像で、高さ13.7m、耳の長さ
2.1m、鼻の高さ0.4m。

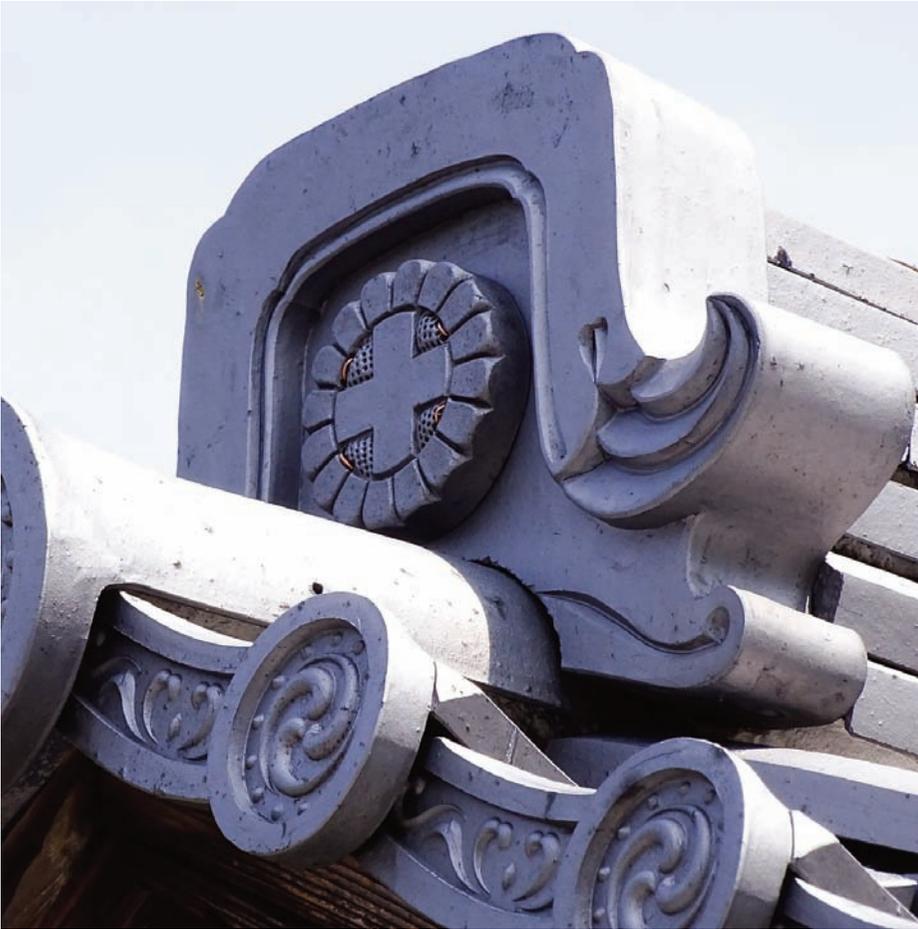
大イチョウを直柱として、骨格は木材で組
み外部は良質の竹材と粘土で造られ、その
上を一切経で糊張りし漆を塗り金箔を置いたもの

胎内には薬師如来がまつられています

- 籠大仏附木造薬師如来坐像
・・・岐阜県指定重要文化財
- 木造阿弥陀如来坐像
・・・岐阜県指定重要文化財



岐阜・誓願寺



浄土宗西山禅林寺派

岐阜・善光寺



真言宗醍醐派・山号は愛護山
本尊は善光寺如来
善光寺安乗院 通称「岐阜善光寺」
「伊奈波善光寺」
信長の孫・織田秀信が、善光寺如来が祀られていた地に伊奈波善光寺堂を建立し善光寺如来の分身を祀ったのが始まりという



岐阜・善行寺



真宗大谷派 無量山 善行寺
開基・正善は清和天皇の後胤・源三位頼政の末裔・服部源五左衛門の三男源兵衛
延徳元年（1489）
本願寺8代・蓮如上人が山科本願寺にご在住の砌に帰依し弟子となり、
名を正善と給わり、一字の道場を建立

岐阜・新性寺



真宗大谷派

かわいい岐阜市指定保存樹百日紅・樹齢 250 年
高さ 13mの巨木。

創建：1000 年前親鸞聖人に教化され建立。
百日紅は初夏から訳 100 日間薄紅色の小さな花
を咲かせ、8月中旬から9月初旬に満開になる。





日蓮宗(身延山久遠寺を総本山とする)の寺院 日蓮宗 三光山
妙照寺

天文三年(1534)厚見郡今泉村に開創。慶長五年(1600)当時の岐阜城主 織田秀信公より当地の寄進を賜り、寛文二年(1662)本堂建立に伴い移転し現在に至る。

境内に芭蕉句碑がある。

<宿りせん藜（あかざ）の杖になる日まで>

妙照寺の住職が俳人・己百で芭蕉と親しく、1688年6月に己百の招きに応じて妙照寺に逗留した時に詠われた句である。

この頃岐阜での蕉門が成立している。

岐阜・専応寺



浄土真宗本願寺派
高賀山専応寺

